

聖書入門講座 第2回 「人間の本当の価値」

1 神に造られた人は価値ある存在

●人間は神に似せて作られた創世記1:26-27

神はまた言われた、「われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとなしを治めさせよう」。

神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。

マタイによる福音書22章20節

そこでイエスは言われた、「これは、だれの肖像、だれの記号か」。

人間には神の肖像が刻み込まれている。(知・情・意)

●人間は存在に価値がある。

イザヤ43:4(新改訳) わたしの目にはあなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。

価値観の混乱 ロンドンデパートの泥棒。

私は誰のものか? オークション 歯ブラシ 220万円 古いアイアンセットが5000万円

イザヤ43:1[旧約聖書 p1003] あなたを創られた主は今こう言われる。「恐れるな、わたしはあなたを贖った。わたしはあなたの名を呼んだ、あなたはわたしのものだ。」

◎私達人間は神によって造られ、ありのままで愛されている存在なのに何故問題だらけなのか?

2 罪 Sin

罪が私達人類と神との仕切りになってしまっている。

イザヤ59:1-2(新改訳)「見よ。主の御手が短くて救えないのではない。その耳が遠くて、聞こえないのではない。あなたがたの咎が、あなたがたと、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。」

●罪の種類 (国語辞典)

- ① 刑罰を科せられる不法行為。法律上の**犯罪**。 Crime
- ② 社会の規範・風俗・道徳に反した**悪行**など。 Immorality
- ③ キリスト教・仏教などでその教えを破る行為。 Sin

●聖書の教える罪

① **神を否定し、自分自身を神とすること。** SIN ギハマルティア=的はずれな生き方。

アダムとエバの犯した罪・・・創世記3:5

(1)律法は私達人間を守られて幸せに生きるためのもの。

(2)律法は私達に権威の存在を教える。

しかし、律法を守り行って、神との関係を改善しようとしても不可能である。

② **罪は性質そのものであり、心の内の状態を言い、犯罪や悪行などはその性質の現れ・結果である。**

・マルコによる福音書7:20-23 (大川師・ビリーグラハム師)

・新約聖書入門(三浦綾子) p.119

SIN 自分がいつも中心 → 十字架

p.51

他人を犠牲にしても誉められたい願望。

③ 人は罪(罪の性質)を持って生まれる。(アダムの罪の転嫁。ローマ 5:12) ローマ3:10, 23

・即ち、人は罪を犯して罪人となるのではなく、罪の性質を持っている為に罪を犯す。

・日本人は悪い実を実らす枝を見て罪人だと思い、この枝を切り落とそうと努力するが...

④ 罪の結果... 刑罰「取って食べると、きっと死ぬ」=(ローマ 6:23)→(ローマ 2:12)

(1) 肉体的死(創世記 3:19) → 霊魂と肉体の分離。

(2) 霊的死(ルカ 15:32)→ 霊魂が神から離されること。

(3) 永遠の死(マタイ 25:41/ II テサロニケ 1:9)→ 霊魂が永遠に神から離されること。

霊的な死の頂点であり、完成。



● 罪の世界に生きる人間の姿

① 何かわからない不安があるから、安心を求めて生きる努力をしている。

(善行、哲学、宗教、仕事、財産、名誉、学歴、地位等)

② 世界の共通した悩み。 i) 空白感(満たされない心) ii) 孤独感(真の友がない)

iii) 罪悪感(罪の赦しを望んでいる) iv) 死の恐怖感(どこへ行くのか知らない)

3 罪の悔い改め(赦し)

● 悔い改め(ギリ語:”メタノイア”)とは、「方向転換」の意。後悔ではない。

・ルカ5:31-32 「義人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるため」に来られたキリスト。

・マタイ9:9-13 「悔い改め」とは方向でありプロセス(どちらを向いて歩いているか)。

・全人格にかかわる心の根本的方向転換。

● 確かな約束: 救い

ローマ 10:9-10

10:9 すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスをよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われる。

10:10 なぜなら、人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからである。

● 神の似姿に回復していく歩み

コリント人への第二の手紙 3章 16節-18節

しかし主に向く時には、そのおおいを取り除かれる。

主は霊である。そして、主の霊のあるところには、自由がある。

わたしたちはみな、顔おおいなしに、主の栄光を鏡に映すように見つ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。これは霊なる主の働きによるのである。

コロサイ人への手紙 1章 14節-15節

わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているのである。

御子は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである。

・贖い:もう一度買い戻した自分のヨット 「2倍に神のもの」 = イエスキリストの十字架

・「罪とは律法を破る事ではなく、神の心を破る事。」